



耐久高等学校同窓会報

耐久



第60回文化祭のひとこま 9/21(金)・22(土)

生徒会主導の全校企画「BIG 千羽鶴」と吹奏楽部

1羽四方の紙を全校生徒で折りあげた巨大折り鶴千羽が中庭上空に見事に羽ばたいた。

NO. 21

本年度のテーマは「JUST DO IT 耐久祭」 文化クラブを中心に展示・舞台発表・バザーなど、全校生徒が日頃の成果を発表した。同窓会は梧陵像前で「同窓会コーナー」を設け、飲み物のサービスを行った。

平成十九年度

第一部として今年は趣向を凝らして同窓会有志が、朗読劇「生ける神・濱口梧陵」を演じ、マンドリンクラブが演奏した。熱気溢れる演技に会場からは大きな拍手が贈られた。その後「耐久四代記念」として伏木鐵郎様（中三十一期—S三十三卒）に記念品を贈呈し、謝辞をいただいた。

三校歌斉唱のあと、下野黨英会長、山崎正互校長のあいさつ。来賓祝辞では、西博義衆議院議員（高十九期）、関東耐久会九鬼利郎会長（高五期）、関西耐久会萩平勲会長（高十期）、和歌山耐久会田辺善彦会長（高十四期）があいさつされた。

があいさつされた。

楠義隆氏（理数科四期）が議長に選出され、活動報告、三委員会（会報・組織強化・会館建設）からの報告、

会計・監査報告と議事が進行された。その後、下野会長より役員体制等大幅に改正された会則改正案が提案され、承認された。次に古川友子副会長（高二十六期）が、

役員改選では、下野会長はじめ役員全員が留任し、満場一致で承認された。

議長解任後、伏木湯浅町長（高十八期）よりあいさつをいただき、法眼貞子副会長（高十九期）の閉会のあいさつにより総会は終了した。

有田耐久会設立について提案し、承認された。四月から新しく有田耐久会が発足します。今後の活動を期待します。

た。

尚、今年は総会終了後、キセイに於て懇親会が行われた。多くの来賓の参加を得て、スペイン舞踏のフラメンコなども披露され、楽しく和やかなひとときを過ごした。



耐久四代記念表彰の伏木氏



有志による朗読劇「生ける神・濱口梧陵」

支 部 連 絡 先	関 東 耐 久 会 会長 九 鬼 利 郎 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パケット Tel 03-3359-9520	関 西 耐 久 会 会長 萩 平 勲 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号 ビジネス インテグレート(株) Tel 06-6941-8282	和 歌 山 耐 久 会 会長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の 2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	有 田 耐 久 会 会長 柏 原 政夫 美 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

同窓会のホームページ URL <http://www.taikyu-h.wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm>

19年度

関西耐久会総会の開催

残暑厳しい9月9日(日)、大阪市中央区本町にあるホテル「シティプラザ大阪」に、耐久高校OB・OGが156人も集まりました。平成19年度関西耐久会総会が開催されたのです。10時30分、阪本名誉会長(旧中35期)による開会の辞。それから4時間半はホテルの中で一番広い「旬の間」は、完全に「紀州・耐久」に様変わりしてしまいました。

なでお弁当を食べたあの堤防を思い出しながら、お話を聞かせていただきました。また、「新屋先生」というなつかしいお名前を聞きながら、一同の心は古い木造の校舎を思い浮かべていたことでしょう。特に、津村氏と同期の4期生の皆さま方は感無量だったのではないのでしょうか。

オープニングの講演会は、津村建四朗氏(高4期・日本地震学会名誉会員)による「稲むらの火と地震・津波防災」です。4月1日の「ルーツを訪ねる会」で、みんな

続いて、山口公子氏による、炭琴・マリンバ演奏です。「道化師のギャロップ」が軽快に響き、先ほどまでのアカデミックな雰囲気の場合が、コンサート会場に変!「ふるさと」が紀州備長炭の炭琴で演奏され始めたとき、「オウー」というどよめきが起こりました。透明感のあるきれいな、それでいて優しい音色で、「春の小川」や「赤とんぼ」など、なつかしい曲のオンパレードです。



総会は、マリンバの伴奏で、



♪しののめなびく
おいしや
ま:♪
と気持ち
のよい校
歌の斉唱
から始ま
りました。

萩平会長の挨拶に続き、耐久高校山崎校長(高20期)、広川町白倉町長(高12期)、湯浅町伏木町長(高18期)のご祝辞をいただき、地引副幹事長による事業・会計報告が承認され総会が無事終了。

下野同窓会長の乾杯の音頭で懇親会へ。紀州の味覚タイムでは「なれずし・しらす釜揚げ・金山寺味噌・清酒稲むらの火」があり、各期毎の記念撮影あり、懐かしい対面あり、談笑飛び交う中、竹トンボまで飛ぶとは驚きです。

最後に「那耆の海・耐久ウォーク」と「平成20年9月7日(日)の総会」の約束をして、幕を閉じました。が、そのあとまだまだお元気で、カラオケ会場が賑わっていたことも報告しておきます。

萩平勲会長(高10期)は、関西耐久会が大きく発展しているのは「各期の幹事の努力のたまもの

す」とねぎらってくれますが、萩平会長・横山幹事長(高14期)の名コンビリーダーがいればこそ。これからも、みんなが少しずつ力を出し合って、楽しく、おまけに心地よい刺激もいただけるような会にしていきたいものです。

関西耐久会副幹事長

地引民子
(高17期)

那耆の海・耐久ウォーク

日時:平成20年4月6日(日)

集合:広川町役場10時30分 解散:湯浅町役場多目的ホール15時30分

主催:関西耐久会 後援:湯浅町、広川町、耐久高校、耐久高校同窓会

参加:耐久高校(旧中・高女)のOB・OG、家族、友人、親戚、知人

会費:一人1,000円(稲むらの火の館入館料、喫茶券、送迎バス代含む)

巡回:稲むらの火の館周辺、湯浅町伝統的建造物周辺、物産店

深専寺茶室、耐久高校吹奏楽部による演奏

電子部品製造(半導体ガスセンサー)
荒木産業株式会社

代表取締役 荒木 彰一
本社 大阪市生野区勝山北1-16-10
TEL.06-6731-7377

ニット工房KT

Original Fashion Ladies Knit 企画、製作

北浦萬里子(高7期)
〒534-0012
大阪市都島区御幸町1丁目5-13 北浦ビル1F
TEL.06-6921-0680 FAX.06-6924-3451
e-mail: waterhol@green.ocn.ne.jp
e-mail: kitaura@minos.ocn.ne.jp

ビジネスインテグレート(株)

萩 平 勲
(高10期)

大阪市中央区谷町1-3-17-301号
TEL.(06)6941-8282 FAX.(06)6941-8248
メール haghira@businessintegrate.co.jp

教育界の改変の今こそ...

母校への更なる支援と関心を!

橋本佳巳(高4期)

ペットと泊まるログハウスの宿

パートナーズハウスゆあさ
横山 享
(高14期)

湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。

学校支援活動

「がんばれ母校！先輩が先生」

11月16日（金）横山享氏の講演
 会が本校体育館において開催さ
 れ、全校生徒、職員、同窓会有志
 が聴講した。演題は「これからの
 皆さんへ ― ネットワークを構築
 せよ ―」。温かく穏やかな口調で
 全校生徒に向け語りかけられた。
 グロリア魔法瓶の営業当初、市
 場拡大のため国内から海外へと進
 出・展開。これまで世界28カ国、
 100回以上の海外出張を経験した。
 その中でもドイツ・サウジアラビ
 ア・台湾の三ヶ国での体験談は、
 特に印象深いものであった。「8
 つの基本単語だけで商売ができ
 る」を信念とし、営業に東奔西走
 した海外での経験。文化・宗教・
 生活習慣という壁を越え、築き上
 げてきた人々との友情と信頼関係



(株)グロリア魔法瓶製作所 代表取締役会長 横山 享氏

これからの皆さんへ

― ネットワークを構築せよ ―

は、氏の最大の財産である。

また、50歳時「老後、余生をア
 グレッシブ・ポジティブに！」と
 いう思いとボランティア（町おこ
 し）精神から経営に着手した犬と
 人の施設「パートナーズハウス
 あさ」。その時の心境についても
 語られた。

氏の人生訓ともいうべき心構え
 「年齢・性別・国境を越えた友人
 のネットワークの構築」「積極的
 に楽観的に考えよ！」が紹介され
 た。そして最後に、すべての同窓
 生共通の悲願である「甲子園出場
 を」という言葉で締めくくられた。

プロフィール

1944 湯浅町生まれ
 1962 耐久高校14期（昭和37年卒）
 1966 中央大学法学部卒業
 1974 (株)グロリア魔法瓶製作所入社
 1992 同社代表取締役社長 就任
 2002 同社代表取締役会長 就任
 (株)PHY設立代表取締役社長
 ペットと泊まる宿「パートナーズ
 ハウスあさ」 開業

講演を聴いて

3年6組 東 文 香

「自分の成功は一人だけの力で叶うものではない」ということを横山さんの講演を聞いて思いました。横山さんがおっしゃるように「何かに成功する」ために必要なことは、「自分の意志をしっかり持つこと」と「友達を大切にすること」の二つだと思います。

横山さんが海外営業に行ったときに使う言葉は、肯定の意味を持つものと否定の意味を持つものの八つだけだそうです。しかし、それらの言葉を巧く使い分けることで、相手に自分の思いがはっきりと届くのだと思います。このことが今の私にとって大切にしなければならないことだと気が付きました。普段の生活の中でも、「はい」か「いいえ」をはっきりと言えずあやふやな返事をしてしまい、思い通りに行かないことがたくさんありました。私はこれからの生活の中で、自分の意見や相手の意見に対してしっかりと意志を伝え、自分の成し遂げようとしていることに向かって行動していきたいと思います。

また今自分の周りにいる友達をこれからもずっと大

事にしようと改めて感じました。いつも側にいて力を貸してくれたりアドバイスをくれるのは友達です。もし嫌なことがあっても友達に相談すれば次の日は元気になれます。楽しいことがあったら一緒に喜んでくれます。横山さんには仕事を支えてくれる友人がたくさんいますが、私にもこれからもずっと関わっていききたい友人がいます。横山さんのようにこれから先もその友人たちと仲良くしていきたいと強く思いました。

今日の講演で、横山さんはご自身の様々な経験を分かりやすく伝えてくださり、私は本当に大切なことに気付いたと思います。そして、今一番叶えたい夢に対して自分の意見をしっかりと持って、時には友人の力を借りたり励まされたりしながら、これからも頑張っていこうと思いました。



関東耐久会 会長 九 鬼 利 郎 (高校・昭和28年卒)	関東耐久会 副会長 大 野 博 司 (高校・昭和32年卒)	「体の不調はコンセランで解消」 (株)コンセラン代表取締役専務 関東耐久会副会長 小 島 美 津 子 (高校・昭和42年卒) TEL 03-5298-8241 URL http://www.comtheran.co.jp/	関東耐久会 副会長 北 野 正 治 (高校・昭和31年卒)	関東耐久会 副会長 前 郁 夫 (高校・昭和40年卒)
--	---	---	---	---------------------------------------

メールアドレス taikyu-o@creamy.nax.ne.jp

特集

濱口梧陵先生の像建立について



耐久高校同窓会 橋本佳巳

2000年(平成12年)4月、

数添泰弘氏が耐久高校校長に着任されて間もなく、私は校長と、今日の学校教育の状況やこれからの教育のあり方について色々話し合う機会があった。その中で、数添校長は、「濱口梧陵先生の像が欲しい。せめて胸像でもいい。これによって先生の崇高な精神に触れ、生徒達が自らの将来を考えるきっかけにしてもらいたい。」と語り、同窓会長として協力して欲

しいと熱心に話された。私も即座に「その思いは私も同じである。何とか実現できるようにいろいろと考え、工夫しましょう。」と答えた。

その後二人で話す機会あるごとに、話題は自ずと梧陵先生の像建立へと向かうのであったが、やがて耐久高校創立150周年を迎えるにあたり、記念事業実行委員会が結成されるに至って、数添校長とのこれまでの話は、必然的にその実行委員会の中へと移されていった。

150周年記念事業について、上野寛実行委員長の高い見識と強力な指導性のもと、熱心な協議が繰り返し行われた。主要な記念事業として、教育環境の一層の充実に、実・発展を期して、玄関前



庭と正面・通用門周辺の整備を行うと共に、創立150周年にあたり、改めて創立者に想いをいたし、本校の連綿たる歴史と伝統を想起することにより、母校や故郷に対する愛着と誇りを持ち、先生の志を受け継ぐ若者が育ってくれることを切望して、「濱口梧陵先生のブロンズ像建立」が決議された。

このブロンズ像は、日本芸術院会員 木下繁氏(故人・旧中大正15年卒)と親交のあった平井康雄財務部長(故人)のご助力にも恵まれ、先生のご遺族(興五澤秀子氏)が銅像の原型を無償で提供してくださるとともに、かつて木下繁先生の教え子でもあった名古屋芸術大学の神部峰男教授(監修者)に、ブロンズ像制作及び像設置作業の指示、監督を行っていただいたものであった。さらに募金活動に当たっては、両濱口家をはじめ、関東・関西・和歌山耐久会、そして、困難な経済情勢のもとにもかかわらず、実に多くの同窓ご兄弟のご協力とご理解があったことは忘れられない。

又、建立設置場所を巡って県立校なるが故の規制(校区内に根っ子の生えるもの、移動し難きもの設置禁止)に、当初、県教育委員



今年も銅像を背に巣立ち行く(3年6組生)

会の許可が降りず、教育上の問題を含んだ銅像であるとの申請理由を強く要請、大いに議論を重ねての難産だった事と、最終的には当時の小関教育長のご理解と、その間、県職OBでもある寺杣良二氏(旧中23年卒)はじめ関係各位のご指導とご協力を頂いた事にも感謝を申し上げます。

これら多くの人々の思いが込められたブロンズ像は、本校通用門付近の庭園に周辺の緑の環境ともよく調和しながら荘厳な姿を私たちに見せてくれている。

プロフィール

- ・耐久高校4期(昭和27年卒業)
- ・関西学院大学(商)(昭和31年卒業)
- ・本校同窓会前会長(現・顧問)
- ・自営 湯浅町(橋本印刷所)

小川産業株式会社

代表取締役社長 小川 禎一
奈良市学園緑ヶ丘2丁目11-11
TEL. 0742-44-5072

有田郡金屋町金屋722の1

ヒロオ薬局
平尾 泰宏(高17期)
TEL. 0737-32-2215

母校の充実発展を!!

下 野 憲 英(高13期)

デジカメよりプリントは
超高画質フジカラー純正で20分仕上げ!

スタジオプルタナカ

オークワ湯浅店TEL(0737)63-2170
オークワ吉備店TEL(0737)52-7808

清水 塾

〒643-0004
有田郡湯浅町湯浅 1896-1
電話・FAX 0737-63-5209

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を!



タイムマシーンに乗って 31 年前に三高等学校 29 期同窓会三



耐久高校29期同窓会

卒業より31年初めの学年同窓会を平成20年1月2日、50歳を期に学校同窓会の援助を得て開催するきっかけをいただき実現する運びとなりました。会場をダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市)に決定したものの、何から手をつけてよいのか、学校同窓会より名簿を提供していただき、知っている同窓生をクラス幹事をお願いして住所調べから始まりました。住所も市町村合併で変わっており苦労しながらの住所確認後、全国に散らばっている同窓生が集まることが出来ました。

参加していただけた178名の同窓生。2次会参加者も含めると180名を突破。「やあ31年ぶり」とのかげ声と共に集まった懐かしい顔。そろったそろった昔の同級生。名札を見ながら話をする卒業が昨日のように感じありました。心うち解けあえる同級生についていいな。友達がまさにタイムマシーンに乗って時間の旅にでたような不思議の感覚で、嶋田典之君の名司会による開会宣言が始まりました。代表幹事をさせていただいた谷岡が開会の挨拶。当時の2名の恩師、吉田元重先生、南健治先生にご出席を賜り、吉田先生にご挨拶をいただき、副幹事の西川潔君の乾杯の発声で始まった大宴会。

名札をみてもわからない人もいて楽しく話したのは誰やったの?と当時の

卒業アルバムを見ながら友達をさがしている一幕もあり爆笑の渦。この年になるとみなさん忙しいので参加希望者がまだまだ大勢いたのを小耳に挟みながら、時間の過ぎるのも忘れて、あつと言う間の楽しいひととき。宮崎君の懐かしギターの弾き語りとお楽しみ抽選会、その後、現在の学校紹介のスライド、当時のクラス写真が披露され、校歌斉唱であつと言う間の3時間でした。時間が止まってしまうでもっと大勢の友達と話したい名残惜しいとの声が多く、「5年後にまた会おう」を合言葉に次回幹事は谷岡義則君に決まり1次会はこれで散会しました。

今回同窓会を開催するにあたり、各クラス幹事さん約1年間に渡って準備作業をはじめいろいろとお手伝いいただいたおかげで無事開催することができました。また幹事さん以外にも準備作業をお手伝いいただいた同級生、また学校同窓会役員の方々、本当に有り難うございました。29期生やる時にはやる一致団結の意気込みがあらわれた同窓会でした。また出会える事を楽しみに、忙しい日々タイムマシーンでもどります。

みなさんありがとう。

代表幹事 谷岡 秀昭

同窓会活動報告

2007(H19)年

7. 17 全国大会出場クラブ(バドミントン・空手・放送演劇・マンドリン) 激励金贈呈
8. 8 会報編集委員会(学校)
- 23 組織強化委員会(学校)
- 23 会館建設研究委員会(学校)
9. 3 会報編集委員会(学校) 同窓会報20号発行
- 9 関西耐久会総会(於:シティプラザ大阪)……山崎校長、下野会長
- 13 四役員会(学校)
- 19 全日本高校・大学生書道展覧・優秀賞受賞(書道部) 激励金贈呈
- 22 耐久高校文化祭への参画
(同窓会テント設置 お茶・コーヒーのサービス)
10. 11 役員・常任幹事会(学校)
- 28 平成19年度総会(湯浅町地域福祉センター)
11. 16 「がんばれ母校先輩が先生」横山享氏 講演会
12. 11 会報編集委員会(学校)



2008(H20)年

1. 2 組織強化支援事業
①高校29期(ダイワロイネットH.和歌山)
- 3 ②高校56期(鮎茶屋)
- 24 役員懇親会(うを丸)
- 28 組織強化委員会(学校)
- 31 会報編集委員会(学校)
2. 29 卒業生クラス代表との懇談会……下野会長



初めての同窓会

高等学校 56 期同窓会



2008年1月3日、第56期（平成16年度）卒業生の同窓会を開催しました。当日の参加人数は恩師の先生方を含め170人。外は雪が降りそうな寒さの中みんな懐かしの仲間にあうために集まってくれました。

まず、学年主任（元3年7組担任）の松本泰幸先生のご挨拶で同窓会の幕開けです。次に、この日のために一生懸命計画を立てた同窓会委員長、森畑滋人君の挨拶。そして元3年3組担任川口裕幸先生の乾杯の

音頭で会場は一気にあの高校時代の懐かしさが戻ってきて、みんなワイワイと盛り上がりました。

メインイベントは、〇×クイズ、Jeopardy、デジカメ、iPad、などの豪華景品をはじめ、大きな「板チョコ」や「うまい棒」などのハズレ商品もたくさん……。一問目にして正解率が予想外に悪く、もう一回やり直した。最後の10名は景品争奪戦でイス取りゲーム。白熱のイス取りゲームでした。次のゲームはビンゴゲーム！これもみんな自分がビンゴになるように祈って次の数字を待っていました。

私たち準備委員のメンバーは、この日の為に仕事が終わってから何回も打ち合わせに集まりました。大勢参加してくれるだろうか、どうしたら上手く運営できるだろうか等、「初めての同窓会」が失敗しないだろうか心配していましたが、思いの外盛り上がりってくれて、大成功に終わることができました。また何年か後に同窓会を開催したいと思います。本会を計画するに当たり、様々なご指導をいただきました同窓会事務局の白井敏之先生、清水健一先生に心から感謝申し上げます。

幹事 細田実香



高13期生同窓会開催

13期生同窓会が8月18日「ホテルグランヴィア和歌山」で開催されました。暑さ厳しいなか、東京、名古屋等遠方からも駆けつけてくれ、104名の出席者となりました。

開会挨拶、乾杯後酒が入って会場が和み、胸に付けた名札を見ながら、「おー、久しぶりやな」と肩をたたき合う者、お互い無事を確認し合う者、高校時代の思い出を語る者、勤め上げた勤務の話、家族の状況、孫の自慢等、華やくだ話題で溢れました。

今回、下野幹事長の発案により実現したスライドショー、高校三年当時のクラス写真が壁面の大スクリーンに投影されました。舟木一夫の「高校三年生」の歌をバックミュージックにして各組の写真が映し出された時、全員の気分は、詰め襟、セーラー服の高校生に戻りました。スクリーンに駆け寄る者、じつと見つめる者、感慨に耽る者、雰囲気は最高に盛り上がりました。

予定された4時間は夢のように



過ぎ、仲間の絆を確かめ合いながら「元気でまた会いましょう」と閉会しました。

法眼正和



旧中
40・41期

我らは戦友!

秋も深まった十月二十五日、耐久中学校第四〇・四一期卒業生二〇名が「湯浅城」に集って、ささやかな同級会を開いた。

昭和十七年四月、前途多難な世界情勢を知る由もなく、希望に胸を膨らませて『耐久』に入學した同級生は一五九名(当時の保護者名簿参照)。

入学早々の四月、アメリカ軍機による本土初空襲はあったものの、緒戦の先制パンチで勝利の喜びに湧く五月、耐久で創立九十周年の記念事業が盛大に行なわれたことは、当時の在校生各位の脳裏に強く残っておられるでしょう。

今回開催された同級会の宴は、同級生名簿を中心に「他界された方の思い出・消息の知らない方や出席されなかった仲間についての情報交換」などから始まり、座が盛り上がるにつれて、越し方の思い出へと発展したことはご想像の通りでした。

一年生当時、天洲での水泳訓練が行なわれ、堤防の上を裸で現場まで出掛けたのですが、

それも戦況の悪化のため伝統の遠泳も中止となり「金槌」だった私などはほとと

したものでしたが、早朝からの「寒稽古」、眠りながら歩き通した「夜行軍」、寒い日も風の日も実施された耐久名物「中間運動」のエピソードなどは尽きません。しかし、事が勉強のことになるトーンダウンして、出るのは国策による学習内容ばかり、二年生を迎えた頃上級生の学校生活に大きな変動が起り始めたのでした。軍隊関連への進学が奨励され、また軍需関係工場への学徒動員が始まり、本分である学習の場を離れ、それぞれの任地へ散って行きました。三年生になった私達にも学徒動員の命が下り、以後一年半に亘る命懸けの毎日が始まりました。半に互る命懸けの毎日が始まったわけですが、身の周りに降り注ぐ爆弾の破片、艦載機の機銃掃射に追われて松原の中を逃げ回った日々、そんな中にも他校の女学生との間に仄かなロマンスが芽生えた?多分片想いだったのではなどという内輪話も出て話が最高に盛り上がった所でお開きの時がきた。

「そうすると、我々の中学生



時代は机を並べ勉強に集中したと言うより、戦火をくぐり助け合い励まし合った戦友ではなかったか」という結論が出て、今「平和」を謳歌し自分で進むべき道を選択出来る若者達が、二度と私達のような青春を送らずに済むような社会作りに頑張っしてほしいというエールを送りつつ閉会した。

(尚、今回の同級会をもって組織的な会を終了することになり、希望がある時は有志の発案で開催することを申し合わせ致しましたので同級生のご了承を得たい)

齋藤 春太郎

平成 19 年 12 月 1 日

和歌山耐久会開催

平成 18 年、機構も新たに再出発した和歌山耐久会。

平成 18 年 11 月の総会に続き、平成 19 年 12 月にも和歌山耐久会を開催した。同会規約に基づき、総会は 3 年に 1 回ですが、「耐久会」として本年もという事で、平成 18 年総会の出欠のご返事を頂いた方 1,000 名に案内状を差し上げました。

参加者 53 名のささやかな会ではありましたが、山崎校長、下野同窓会長、萩平関西耐久会長、西代議士の参



加も頂き浦口高典氏の司会よろしく全員が自己紹介及び近況報告などをしてのなごやかな会合となりました。

土曜日の 13 時からという時間設定の為、女性の参加者が多かったのですが、通勤の方には出掛けづらいという声も聞かれました。

そこで、未だ幹事のいない各期の幹事就任要請を再度行いましたが、それぞれの期の参加者から、楽しく、なごやかな耐久会であったとの声を聞かせて頂きました。幹事一同、胸を撫で下ろしている次第で、次回の盛会が期待されます。

幹事長 中田 實宏

小畑産業株式会社

代表取締役 小畑 英三 (高18期)

〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
e:kobata@kobatasangyo.co.jp



株式会社 和通

代表取締役 中田 實宏 (高17期)

〒640-8341 和歌山市黒田279-4
TEL 073-475-0310
FAX 073-475-0320

人と社会の未来を見つめて...

○建設コンサルタント/環境アセスメント
○アスベスト・ダイオキシン類・土地汚染調査

和建技術株式会社

和歌山市紀三井寺 532 番地の 2
TEL 073-447-3913
ISO 9001・14001・17025 登録

保険コンサルタント/ファイナンシャルプランナー

和歌山FP総研

代表 川島 忠弘(高37期)

〒640-8331 和歌山市美園町5-6-12
TEL 073-424-6611 FAX 020-4624-8330
E-mail:tada315@ybb.ne.jp
HP:http://www.geocities.jp/wfp_soken/

田辺法律事務所

弁護士 田辺 善彦 (高14期)

〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299



高女二十九期生の集い

県立有田高等学校最後の入学生である29期生は、10月16日ホテルグランヴィア和歌山に集いました。2年に一度の定例同期会です。

1945年夏、敗戦でよう

私達は時代の荒波に翻弄され、流浪の子供達だった。2

年生に進級する段階で、学制改革により、

自動的に新制中学2年生となり、校舎が

ない為に、有田高女で間借り授業の一年

間を過ごす。3年生になる時点で追い出

され、各人出身地の新制中学3年生となる

のですが、やはり校舎がない為、出身

小学校に戻って間借り授業での一年間。

こうして私達が29期生として過ごした女

学生生活は2年間であった。それ故に、

この同期会を、何にも増して温もりのあ

る、連帯感をもてる会合にしたかった。

やく本土決戦の恐れから解放されたのが、小学6年生だった。空襲下で修学旅行

もなく、翌年3月卒業。4月入

学試験に合格した女学生達が学

校の門をくぐったのは、61年前

のことでした。

当日、皆さんは早々と集まっ

て来られ、幹事さん達も予定よ

り一時間早く受付を始められ、

みんなの情熱が肌に感じられる

集まりようであった。前々から

ホテル側担当者、綿密な連絡

をとっていたので、すべて心得

て準備して下さり、広いホール

で、私達は美味に満足しながら、

ゆったりとくつろいだ気分を十

分に味わうことが出来ました。

校歌斉唱で私が一番強く持った

のは、みんなよく声が出ている

な、という安心感でした。美和

子さんが詩舞「古城」を舞って

下さり、舞台設定・照明とピツ

タリはまり、華やかな雰囲気

盛り上げていただいた。また全

員で「四季の歌」など5曲を斉

唱、「星影のワルツ」は、全員

が一つの輪になり、肩と肩を触

れ合わせながら、みんな思いき

り声を出して歌い終わった時、

総員感動の拍手を惜しまなかつ

た。自画自賛ながら大成功裡に、

愉快で幸せな一日を過ごせ、感

謝感謝。次回は大阪です。70歳

代は青春です。皆様の御健康を

祈りつつ。

前田 滋子

(旧姓 梓倉)



高22期

耐久高校3年4組集合！

猛暑の続いた夏。耐久高校3年4組（第22期生）クラス会に16名が集合しました。

平成元年の同窓会を機に、2年ごとにクラス会を企画して今年で10回目の記念すべき会となりました。

もちろん毎回出席の私にとって、皆さんに会えるのが楽しみの一つです。今年は10回目の記念として高校時代のアルバムから写真入りCDのおみやげ付きにしました。

当日、心は当時の18才、皆で心の底から楽しみました。

現在私たちは56才。近況報告も様々で、仕事を早期退職した友、病気と闘っている友、健康を取り戻した友、家庭のよもやま話…等々。それぞれ報告があり、人生の

節目なんだなあと実感。又、2年後の再会を約束して帰路につきました。

何をするにも健康が一番。笑顔も一番。…又お会いしましょう。

熊野 麗子



株式会社 金谷伊兵衛商店

金谷伊兵衛 (高8期)
金谷泰正 (高18期)
金谷敬太 (高42期)

本店 和歌山県有田郡湯浅町湯浅949
〒643-0004 電話 (0737) 62-3128・3129番

同窓会のご宿泊・ご宴会は
有田川温泉へ!!



有田川温泉
有田市国道42号線沿
Tel.0737-88-5151

SHIMODE DENTAL CLINIC

医療法人 わかしお会

下出 歯科

下出 優

(高・理数2期・S48卒)

有田郡広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482



第九期四・五組 合同クラス会

今年が、高校卒業後丁度五十年目で、しかも今回が十回目のクラス会である。初秋とはいえ、今年の記録的な猛暑の名残りさえ感じ、九月二十四・二十五日は、三三五、鳥羽に集合することとなった。目の前に広がる美しい海と空。眺望のすばらしいホテルに、今回も元気な二十三名の面々が出席した。初参加の向谷さんを含め、まさに、親しい友人達で、何一つ、

遠慮ない。岡崎在住の林くんが、今回の幹事で、色々、趣向を凝らし、会の盛り上げに尽力。宴会場にて、いよいよ開会。皆、平素頻繁に、連絡を取り合うというわけではないが、音沙汰なくとも時間を超越して、一瞬にして青春にもどり話が進む。片意地の張らなく、こういう雑談ほど楽しいものはない。宴もたけなわ、高校三年生を合唱。まさに、



青春そのものである。その後も、それぞれが、持ち歌を披露し合



ホテル鳥羽小涌園

い、楽しい一時はあっという間に過ぎ去った。翌日は、伊勢神宮を参拝。境内を散策のあと、昼食は名店「豚捨て」で牛なべを囲み、昨日の宴会の続きに早や変わ

りである。

我々、来年は「古希」を迎える。人生八十年、いや、人生百年の今では、大したことではない。まさに、我が年令が、人生そのもの。成熟、充実した季節と心得えて、これからの歲月、思い切り活動したいものである。来年の関東方面での再会を約し、散会した。

(横浜市在住)

大野 博 司

高7期

古希旅行を終えて

梅雨の合間をぬって六月二十六日(二十七日の二日間)淡路島周遊の旅へ行つてまいりました。

第七期同窓生四十名湯浅発のバスにて和歌山市内大阪市内を通り一路淡路へ向かいました。

昼食後淡路七福神八淨寺を参拝、大黒天についての講話をお聞き致しました。

(講話から)

大黒天は甲子きのねの年昭和五十九年甲子きのね日子刻に開眼入魂

されました。それ故に子の神とも言われています。

(参考に)

私達同窓生の多数が子年生れですので感激。

—— 又 同窓生の

梅本(阪神タイガース)君より60年に一度甲子年が周期的に廻ってきます。甲子園球場が60年前の大正十三年の甲子年に完成しオープンしたとの話を聞き、もう一度感激しました。



二日目は観潮船に乗船し「うず潮」をみました。太平洋と瀬戸内海との高低差による流れの変化により渦が発生することです。そして淡路ファームパークイングランドの丘では「コアラ」をみました。(昼間は眠っているためほとんど動かず)

楽しい二日間を無事に終え二年後の再会を約束して帰路へつきました。

金 森 光 廣

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

関東耐久会

◆ 軽井沢散策と

ゴルフの旅

H 19年 9月13 (木) ～ 14

日(金) にかけて総勢21名で実施いたしました。13日午後には新幹線 軽井沢駅に集合し、バスにて「クリオ

コート」に向かいました。クリオコートは当会会員の南方由子様(10期生・昭和33年卒)が経営されているホテル&レストランで今回で四回目の利用となります。

まず、同ホテル前にて記念撮影し、その後レストランにて、美味しい「中国料理」を賞味させて頂きました。食事の後、別棟のカラオケ・ハウスで皆様の自慢の喉を競い合いましたが、圧巻は大田美

代子さん(高女22期生・昭和18年卒)と北野正治副会長(高校8期



生)による「どじょうすくい」でした。ぶつつけ本番とは思えない熱演振り



で拍手大喝采、来年の総会への特別出演の話も出ております。

あくる日はバスによる散策組とゴルフ組に分かれての行動となりました。バス散策は8名で小島美津子副会長(高校19期生)案内のもと、「孺恋郷土資料館」「鬼押し出し園」「白糸の滝」「旧三笠ホテル」とジャンボ・タクシーで散策しました。お昼は美味しい「お蕎麦屋」で納得の味に舌鼓を打ち、



午後の新幹線で帰宅の途につきました。ゴルフ組は大野博司副会長(高校9期生)のお世話で、「パルーコール孺恋ゴルフ場」にて13名の参加を得て、開催しました。今回も南方由子さんのご夫君によるゴルフ場手配等大変お世話になりました。

なお、今回は同窓会本部の伏木富紀子常任幹事(高女22期生)が特別参加され、会の盛り上げに寄与していただきました。有難うございました。

◆ 都内バス旅行

恒例のバス旅行は、H 19年10月

27日(土) 雨模様の中、42名の多数参加を得て実施されました。今回の計画は北野副会長(高校8期生)と前副会長(高校17期生)が中心となって企画していただきました。

北野副会長は事前にコースを2度調査され、綿密なるタイム・スケジュールが作成されました。前副会長は主としてバス、食事の手配をしていただきました。バスの正規の座席数は39で一部補助椅子を使つての大バス旅行となりました。

東京駅近くに朝集合し、皮切り



は江東区の「清澄庭園」。ついで「NHK スタジオパーク」。途中昼食をはさんで「国立新美術館」で丁度開催中のフェルメールの『牛乳を注ぐ女』他を鑑賞しました。この頃より、雨脚が強くなり台風並みの風も感じられるようになってきました。当初の計画としては「東京ミッドタウン・カレリア」「六本木ヒルズ東京シティビュー展望」を考えていましたが、後半の六本木ヒルズは割愛し、東京駅に向かいました。足元の悪い中、風雨でびしょ濡れになった方もいましたが、それぞれ色々の思い出をもって帰途につかれました。

(小島、九鬼 記)

橋本和明がつくる身につける彫刻 シルバーアクセサリー

下記のショップで好評発売中!! お気に入りの一点を見つけに来ませんか?
和歌山県立近代美術館・彫刻の森美術館・ギャラリー・アサンブラージュ(愛知)
橋本印刷アートコーナー(湯浅町本町)

お問い合わせは TEL 0737-63-4077

インターネットでも! <http://www.k5.dion.ne.jp/~casty/>

Total Printing System
ICHIIJO
株式会社 一乗
和歌山市湊紺屋町2丁目30番地
(市民会館前)
Tel. 073-423-6950
Fax. 073-423-6955



橘 本
Wedding Hall
TACHIBANA

橋 爪 正 文(高39期)

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>

〒649-0434 和歌山市宮原町新町17



絆 ハンドボール部の巻

部活OB・OGたちの

ハンドボール部は、現在、部員17名（2年12名、1年5名）の結構？大所帯のチームです。ゲームはキーパー1名、コートプレーヤー6名の計7名で行います。3年生が少なく（途中でやめてしまったので0名）2年生は1年生の時よりレギュラーとして公式戦に出場しています。高校に入って初めて「ハンドボール」というスポーツの種目があるのを知ったというくらい、全員全くの初心者で、毎日どのように練習したり、試合の進め方やそのポイントなど全く分からない状態からスタートしました。上級生（キャプテン）

やコーチの山本隆重君（H13年度卒業）に熱心に指導して頂いており、「目指せ1勝」の目標のもと日々練習に励んできました。

今年度の新人戦において、初めて1勝を上げることが出来ました。2回戦では惜しくも敗れてしまいましたが、試合内容も悪くなく、よく頑張ったと思います。もう少しのところでベスト4に入れたので、非常に悔しい思いをしました。今年はベスト8にとどまってしまいました。が、現チームは非常に良くまとまっており、来年度の総体においては、是非勝ち進んで近畿大会に出場したいと思っています。また、1年生部員も日々黙々と練習に励んでおり、上達もめざましいものがあります。特に練習後、コートを整備するときもパスやシュートの居残り練習を自ら進んで行うなど、集中力のある活動が印象的です。顧問としては、来年度に向けて非常に楽しみであり、私自身も、更に一層「クジ運」を鍛えていきたいと思っています。県下16チーム（男子）しかないマイナースポーツですが、暑い？熱い？！部員共々、今後ともよろしくお願いします。

顧問 生駒 亮 司

Echo!

◆「衣食足りて礼節を知る」
良き格言であるが現在、は、そう単純に、乱発も出来ない。今の時代、衣食足りて、我が儘になり、自己虫（中）が、ここかしこに増殖している。日本人のスピリッツは、紙風船如きである。少しそれがITの時代、無理もなからうが、読書せず、手紙の類は書かず、専らメール、ビジュアル（漫画、劇画等）に落ちつく。キーを押せば、勝手に、漢字は、変換してくれる、いやはや、便利なものが生まれたものだ。TV番組の、漢字クイズをみても然りである。情けない解答が、目白押しに出る。この意味深い、味のある漢字や熟語の衰退が、顕著である。

日本の、言語や、文学の将来を憂える今日この頃である。（高4 西邑 孝）
◆今年年末の京都・清水寺での風物詩ともなった、その年を表現する一字の発表は、一九九五年から「震・食・倒・毒・末・金・戦・婦・虎・災・愛・命」と続き、〇七年は「偽」とこれ又暗い、さてさて、次なる一字は……？
明るさをイメージした漢字の到来を期待しての迎春としたいものである。（Y生）

◆ご献金に感謝
・旧中40・41期 同窓会様
・高校13期 同窓会様
・高校22期 同窓会様
・郵便振替による、ご協力で支援下さった多くの皆様にも御礼を申し上げます。



窓歌壇

宮崎 静子（高女22期）
・老いきたり喜びありやと自らを
ふと問ふ事の多きこのごろ

垣内 貞（中39期）
江戸よりの梧陵の賀状のびやかな
故郷しのびて屠蘇酌むの文字

脇中 佐智子（高10期）
・言の葉に出せば絆が切れそうぞ
ぐっと呑み込む夕陽の下

中内 京子（高15期）
・塗り替えの足場組みゆく吾子ふたり
指図する夫の声は弾めり

『編集後記』

懸案であった有田耐久会が総会の承認を得て発足しました。これで同窓会も、関東・関西・和歌山・有田と四つの耐久会の四輪駆動で活躍する態勢が整いました。各耐久会のみますの発展を期待したいと思えます。

「卒業後四年」と「知命（五十歳）の年」という二つの同窓会が「組織委員会」の支援のもと盛大に行われました。この行事も今回が四年目で、定着してきた感があるのはうれしいことです。

平成十九年度総会、続いての懇親会は、いずれも関係の方々のご尽力によって、斬新な企画のもと、なごやかな雰囲気にあふれた催しとなりました。旧制の耐久中学、有田高女卒業の皆様も大勢出席してくださいましたが、旧制卒の方々の会員総数が年々減少していくのは、寂しいかぎりです。

年年歳歳花相似たり
歳歳年年人同じからず
（劉廷芝「代悲白頭翁」より）
那蒼蒼の潮の香にもようやく春の訪れが感じられる中、今年も新たに卒業生を迎えることができました。卒業される皆さん、おめでとう。どうかおの目標に向かって邁進してください。同窓会は常に皆さんの心のふるさとでありたいと願っています。本号の「特集」の記事はぜひ読んでもらいたいと思います。
この会報の発行に際し、今回もまた多くの方々からご支援、ご協力をいただきました。心からお礼を申し上げます。